

平成28年6月3日（金）
白石区 初夏の大型街頭啓発

旗を持ち安全運転訴え

白石厚別建協 初夏の街頭啓発参加



は、地下鉄白石駅近くの

安全運転を呼び掛けた

環状通沿いに並び、運転中の携帯電話使用禁止などを訴える旗を持ち、走行車両に示した。

武藤会長は「市内を走る自転車や自動車は200万台以上あると聞くと、それだけ交通量が多いということ。建設業としてはダンプなどで交差点を曲がる際、巻き込みを防ぐため一時停止をするようにと指導している」と話していた。

白石厚別建設協会（武藤征一会長）は初夏の大型街頭啓発に参加し、走行するドライバーに安全運転を促した。

札幌市白石区らが主催する交通安全決起大会と、その後の街頭啓発に、会員企業21社から36人が参加した。

冒頭、可児敏章白石区長は「区民が交通事故の当事者となってしまった例もある。飲酒運転も後を絶たず、危機的状況を根絶に向けて一丸となって取り組みたい」と呼び掛けた。

その後の街頭啓発で

